

# 令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：31006

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>◇AAR サイクルを重視した授業作りを校内で研修テーマとして取り組んだ結果、札幌市の共通指標の「振り返りを通して、自分の伸びや成長を感じることがある」という項目は、全市平均を大きく上回ることができた。</p> <p>◇ICT の日常的な活動を積み重ねたことにより、ICT 活用に関するアンケートにおいて、「学習の中で端末を使うことは、勉強の役に立つと思う」という項目が全市平均を大きく上回ることができた</p>	<p>◇札幌市の共通指標の「1日の時間の使い方を自分で考えて生活している」と「自分で計画を立てて勉強している」という項目において昨年度より改善したが全市平均並みで、何事に対しても「見通し」をもって計画的に取り組むことができるよう支援が今年度も課題である。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇札幌市の共通指標の「自分にはよいところがある。」の自己承認に関する項目、「人のよいところを見付けようとしている。」の他者承認において、全市平均を上回り、校内の学校評価においても同項目について約9割の肯定的な回答が得られた。教科の授業はもちろんのこと、総合的な学習の時間においても協働的な学習を行い、それぞれの生徒の個性を發揮して活躍する場面を創出することができたことが、自己肯定感や他者承認の高まりに寄与していると考えられる。これからも生徒同士がお互いの良さを認め合い、自己有用感を実感できる機会を増やしていくことが重要である。</p>	

## 「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力 自らの学びを調整しながら見通しをもって主体的に取り組み、他者との関わりを充実し、自分の考えを発信する力

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
	<p>(1)各教科において、単元計画を生徒に配付し、評価評定を含めた学習に対する「見通し」を教員と生徒が共有し、振り返りを丁寧に行うことで、AAR サイクルの定着を図る。</p> <p>(2)フォーサイトを活用し、見通しと振り返りを大切に学習習慣の定着。</p> <p>(3)総合的な学習の時間において、同学年だけでなく、異学年生徒と意見を交流する場面を設定することで、自らの考えを広げ、深める場の創出。</p> <p>(4)パートナー校による小中一貫した教育活動の推進（合同研修会、小中合同音楽祭）</p>	<p>①さっぽろっ子サミットへ向けたパートナー校児童会と生徒会役員の自主的な活動を目指しての意見交流</p> <p>②子どもの声を聴き、意見を生かすための学校運営協議会への生徒会役員の参加</p> <p>③先輩から後輩へと伝える伝統の継承（中2から小6への中学校ガイダンス）</p> <p>④新たな活動や取組の創出（ゴミ拾いチョボラ等）</p> <p>⑤生活委員会を中心に、挨拶運動やいじめ防止に向けたスローガンの策定</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について		
<p>◇主に(3)や⑤において、複数のツールの中から適当なものを、生徒自ら選択できるような環境を整備するとともに、各ツールの利点などの特色について指導する機会を適宜設ける。</p> <p>◇主に③において、Googleform で小6児童からの質問を集約し、児童の中学校入学への不安を解消するためのガイダンスを創出する。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

